

養鶏農協だより

—岡山県養鶏農業協同組合—

海上運賃と飼料価格の推移

養鶏用飼料の大部分は輸入に依存しているため、海上運賃の飼料価格への影響は極めて大きいものがあります。しかも海上運賃は、飼料の国際的需給移動状況のみならず、食糧その他貿易商品の荷動きにも影響されることが多いので、養鶏家は海上運賃への関心を高めたいと思います。別表でみられる通り、玉蜀黍の主要積出港であるガルフ港と日本間の海上運賃は、38年1月にトン当たり7.05ドルであったものが、ソ連の小麦大量買付等で高騰した同年11月の如きは、2倍以上の14.79ドルにもなって、飼料価格騰貴の大きな原因になりました。1トンで7.74ドルの差は、20キロ袋入に換算すれば実に55.73円にもなり、養鶏経営に大きな悪影響をもたらしたことはご承知の通りです。

海上運賃

通常フレーと (freight) と呼ばれ、純粹の運賃に船内荷役費を含むのを通例としています。

飼料の取引には、価格決定上次の3通りがあります。

F. O. B. C. & F. C. I. F.

F. O. B. (free on board)

価格をきめるとき、売手と買手の間で飼料の受渡しをする場所や、運賃の分担方法等について明確に示した契約を締結します。F. O. B. は発港本船乗渡し、船積み渡しまたは甲板積み渡しともいい、輸出港において本船に積み込むまでの費用を売手の負担にすることで契約した受渡し方法をいう。一般には輸出品を売手の港で相手国の買手に売渡す場合、または輸入品を売手の港で買入れる場合の取引方法です。国内の飼料取引で、貸車利用の場合の「オンレール」に当たるといえます。

C. & F. (cost and freight)

到着港渡し価格ともいわれ、F. O. B. 価格に本船運賃を加えたもので、到着港までの運賃を売手の負担

をして受渡す方法です。国内貸車利用の取引にみられる「着レール」に当たりましょう。

(別表)

	幼雛用配合		二種混(20K当)		穀物(トン当)		玉蜀黍(37.5K)	
	20K当生産者		生産者		海上運賃		卸売	
	工場渡		工場渡		ガルフ~日本		港湾倉庫渡	
	価格	前年比	価格	前年比	価格	前年比	価格	前年比
単位基準	円	%	円	%	ドル	%	円	%
38年1月	831	98.0	513	96.2	7.05	75.3	979	93.4
2月	824	97.2	518	97.2	7.25	81.9	999	94.7
3月	822	97.1	518	97.2	7.37	81.9	1,005	95.9
4月	819	99.6	520	100.0	7.87	83.8	1,005	98.8
5月	826	96.8	520	96.7	9.18	101.7	1,015	100.0
6月	821	99.5	522	99.4	8.67	112.6	1,025	101.8
7月	818	98.0	526	102.1	8.49	115.4	1,030	104.8
8月	824	98.7	530	102.9	9.45	133.7	1,030	108.6
9月	821	98.8	540	105.3	10.38	149.4	1,032	110.4
10月	820	98.6	543	105.9	13.30	197.6	1,180	125.5
11月	827	99.3	580	113.3	14.79	219.8	—	—
12月	895	108.2	591	115.2	12.24	174.1	1,163	121.7
39年1月	835	100.5	594	115.8	11.98	170.7	1,140	116.4
2月	836	101.5	594	114.7	11.38	157.0	1,085	108.6
3月	836	101.7	586	113.1	8.84	119.9	1,010	100.5
4月	—	—	—	—	9.74	123.8	—	—
資料	畜産局		畜産局		日経		日経	

C. I. F. (cost insurance and freight)

運賃保険料込み価格渡し、到着港本船乗渡しといわれ、C. & F. 価格に海上保険料を加えたものを売手の負担とする方法で、貨物が本船の索具を離れるまでの危険は売手の責任になる。日本の通関統計の輸入額は、この価格によった金額が使われています。